

世田谷

# ファミサポ通信

世田谷区社協キャラクター

ココロ



## 世田谷区ファミリーサポートセンター

開所時間：午前8時30分～午後5時15分（土日祝日、年末年始を除く）

〒157-0066 世田谷区成城 6-3-10 4階

電話：03-5429-1200 FAX：03-5429-1202

ホームページ：https://www.setagayashakyo.or.jp/service/kosodate/

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、世田谷区から世田谷区社会福祉協議会が受託運営しています。

第21号

令和5年3月

## ファミサポ会員専用公式LINE、はじめました！

- 世田谷区ファミリーサポートセンターからのお知らせが「LINE」で受け取れるようになりました。  
交流会や研修のお知らせ、各種手続きご案内、地域の子育てイベント情報などを、直接お届けしますので、是非、「利用会員専用LINE」または「援助会員専用LINE」への登録をお願いします。
- 登録が簡単！ → スマートフォンでQRコードを読み取るだけ！  
・『利用会員専用』・『援助会員専用』があります。お間違いのないよう登録ください。

QRコードはチラシまたは印刷版「ファミサポ通信」でご確認ください



お願い

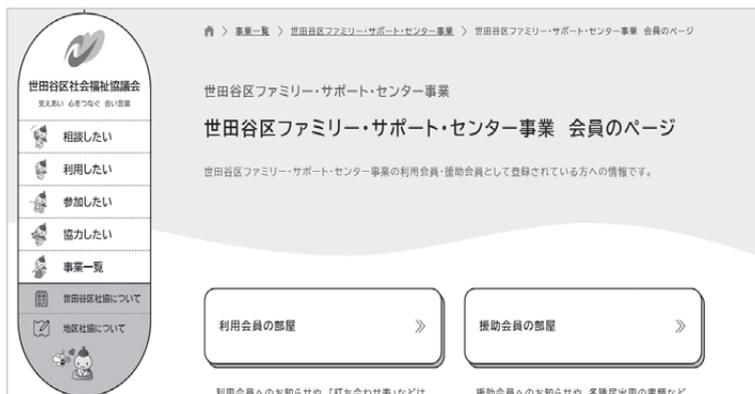
- \* LINE登録した方は「メルマガの登録削除」をお願いします。  
（「削除方法」は受信済みのメルマガ記事の最下部、またLINE友だち追加後の画面に詳細が掲載されています。手順に沿って削除をしてください。）
- \* 「ファミサポメルマガ」は経過期間のち配信終了します。（約1年後の予定）

## 世田谷区社会福祉協議会のHPが新しくなりました

世田谷区 ファミサポ で検索（URLはこれまでと同じです）



- 新設「会員のページ」をクリック！  
「会員のしおり」「0歳児見守り支援（サポートシート）」「ファミサポ通信」バックナンバーをご覧ください。
- 「利用会員の部屋」または「援助会員の部屋」をクリック！  
研修会や交流会の案内ほか、会員専用の情報ページです。  
\*利用会員の部屋では「打ち合わせ表」を閲覧、ダウンロードできます。



## ヒヤリハットから見る危険予知！

### 危険なところはいくつある？

下の絵に○で囲んでみましょう。  
回答は社協ホームページでチェック！



「子どもに安全をプレゼント『事故防止支援サイト』(国立保健医療科学院)より転載

### ドキッとした時、どんな時？

- 乳児の例
  - ◇口から絵本の破片が出てきた！
  - ◇頭が重くて転倒、おでこをゴツン！
- 幼児期の預かり時
  - ◇ロボット掃除機に指をはさまれた！
  - ◇公園で遊具の上から転落！
- 送迎時
  - ◇止まっていた車が急に動き出した！
  - ◇交差点の死角から自転車が強スピードで飛び出してきた！



\*子どもを預かる際は、「○○しないだろう」ではなく、「○○するかもしれない」という意識が大切です。「まだ寝返りしないだろう」「道路に飛び出さないだろう」「お昼寝からまだ目が覚めないだろう」…心当たりはありませんか？

\*利用会員宅での預かりのときは、ロボット掃除機等の使用は控え、ペットは別の部屋でケージなどに入れましょう。

### 『0歳児見守りサポートシート』を活用しましょう

保護者なら微妙な変化に気づけても、援助会員が気づけるとは限りません。シートを活用し環境や対応方法などを利用会員と援助会員同士で確認しましょう。

・シートは社協ホームページ「会員のページ」(P1 参照) からダウンロードできます。

- 会員登録の更新手続きは毎年必要です。(ただし、登録した初年度は不要) 令和5年度の登録継続のための書類はすでに郵送しています。
- 期限内に手続きしない場合は、年度末で「登録廃止」となります。登録廃止のまま、利用や活動をすると、ファミサポ事業として認められず、万一の事故の際には保険の対象外となりますのでご注意ください。
- まだ手続きしていない方で次年度も継続して利用や活動したい場合は、**至急、センターにご連絡ください。**

**更新手続きは  
お済みですか？**

### 重要です！「春の打ち合わせ」⇒「会員のしおり」P.7参照

- ◇春の打ち合わせは、毎年3～4月に紹介された会員同士で必ず行ってください。
  - ・4月以降もお子さまや保護者の状況が変わったときは、打ち合わせ表を修正し、再度確認しましょう。
  - ・特に子どもの体質やアレルギーの有無、配慮が必要なことなどは具体的に記入してください。打ち合わせ表は「会員のしおり」P.27 (または社協ホームページからダウンロード) にあります。
- ◇利用が1年以上ない場合は、利用を再開する前に必ず打ち合わせ表を作成し、確認しましょう。
- ◇利用内容、登録内容が変わる場合は、随時、お住まいの支部(地域社協事務所)へ連絡をお願いします。

# 令和4年度・ファミサポ事業報告

## 会員同士で交流しよう～★

### 利用会員交流会「絵本セラピーの世界」 (10/29:らぶらす、11/12:梅丘パークホール)

絵本を通して自然と心が開放され、初対面の参加者同士の会話も弾んだ、素敵な体験でした。



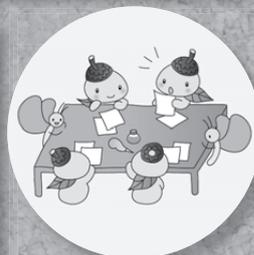
### 援助会員交流会「ファミサポ・カフェ」 (11/9:三茶しゃれなあと、11/18:梅丘パークホール)

名称を「ファミサポ・カフェ」に変更。グループに分かれて困りごとやうれしかったことなど話が弾んでいました。



### 「はじめの一步」 計4回開催

まだ利用したことがない利用会員を対象とした事前打ち合わせ模擬体験事業。緊張気味だった空気も次第にやわらぎ、身の上話や子育て相談も聞かれました。



## ファミサポで学びの機会

### フォローアップ専門研修 (救命講習と事故防止) 計6回開催

5年に一度の受講が必要となった、乳幼児に特化した心肺蘇生や異物除去法の実技指導と、ヒヤリハット事例から安心、安全な活動のためのポイントを学びました。

### 子育て支援者養成研修 計5回開催

5回開催のうち、第3回、第5回の2回でオンライン研修を取り入れました。「平日日中はどうしても受講できず、ようやく受講できました！」と喜びの声が。

### 子育て援助活動入門講座「手あそび」 計2回開催

雰囲気づくりが上手な講師の声に合わせ、参加者の声や笑いも会場内に響き、終始楽しい雰囲気に包まれていました。



# ファミサポ 利用/活動中

会員さんにインタビュー!

第二子を妊娠中、思うように動けなくなって、ファミサポの利用を申し込まれたIさん。  
援助会員の菊池さんに月2回、2時間の見守りをお願いしています。

◆ 利用会員 ◆ Iさん & Tちゃん (2歳9ヵ月)

◆ 初めてお会いしたときの菊池さんの印象は？

穏やかな笑顔で明るく接してくださりホッとしました。経験豊富で安心感がありました。長女ともあつという間に打ち解けてくださり、これで自分たちだけで頑張らなくてもいいんだと思うと、とてもありがたかったです。

◆ 利用してみてもいかがでしたか？

自分たちだけでは、つい同じ遊びやテレビに頼ってしまいがち。菊池さんから新たな遊びや声かけを学んでいます。第二子出産の入院中は、夫のワンオペ状態だったので、平日夕方にサポートに来ていただき大変助かりました。

◆ 菊池さんへのメッセージ

いつも温かく見守っていただきありがとうございます。両実家が遠方な私たちにとって、菊池さんは「東京のばあば」です。娘たちはもちろん、私たちの親としての成長も見守っていただければ幸いです。これからもよろしくお願いします。

◆ これから利用する方へ

自分たちだけで無理をせず、まずは登録されることをお勧めします。世代の違う援助会員さんに見守っていただくことは子どもの成長にもプラスになると思いますし、サポートしていただく少しの時間や安心感で、子どもへの声かけも優しくなれる気がします。

「くっちゃん  
のどがかわいた！」

いっぱい遊んで、ひと休憩♪



◆ 援助会員 ◆ 菊池さん

◇ 援助会員に登録したきっかけは？

以前、保育に携わっていたこともあり、育児に一番手がかかる時期にお役に立てればと思いました。

◇ 活動して良かったことは？

お子さんたちの大切な成長を一緒に見守れることです。Tちゃんに「\*くっちゃん!!」、「またア・ソ・ポーね」と言われると、最高に幸せな気持ちになります。  
※Tちゃんがまだ「きくちさん」と呼べないので、「くっちゃん」とお呼びしているそうです。

◇ Iさんへのメッセージ

親御さんがご在宅での預かりは初めて。パパ、ママをゆっくりと休ませてあげたいと思っても、なかなか思うようにいかず、申し訳なく思うことが多々あります。

それでも笑顔で「また次回よろしくお願いします」の温かなひとことと「東京のおばあちゃんと思っています」の言葉は本当にうれしかったです。

お二人で、お子さんたちの成長に合わせて、試行錯誤されながら、一生懸命におもちゃ、遊び方、接し方を工夫されているご様子に、「なんと温かなご夫婦、ご家族だろう」と思います。Iさんご家族に出会えたことが、私の人生での大事な「宝物」です。

◇ これから活動する方へ

子育てに手を貸してもらいたいという親御さんの気持ちに寄り添うファミサポの活動は、親御さんの元気のチャージにつながったり、未来の宝物であるお子さんの笑顔につながっていると思います。ファミサポのご縁が広がりますように。

インタビュー・文 酒井 英代 (アドバイザー)

